



チャレンジ！一歩前へ

郡山市立大槻小学校
学校だより No.69
令和4年 3月 7日
文責：校長 酒井 健

◇卒業式の全体練習が始まりました

先週の金曜日から、卒業式の全体練習が始まりました。この日は、十分な換気のもと、座る場所の確認、座る姿勢、立ち方、礼の仕方など、基本的な動作を再確認するとともに、教務主任の熊田千秋先生から、卒業式に参加する心構えなどについても指導がありました。

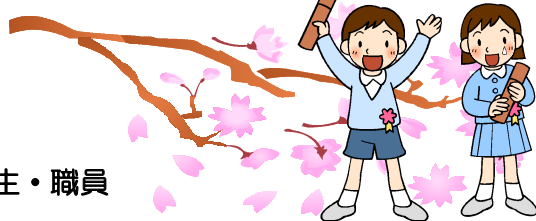
子どもたちは、いつもとは違う体育館のピリッとした空気感の中、真剣に話を聞いていました。さすが5年生、6年生です。いや、在校生、卒業生です。これからの全体練習では、卒業式の流れ、卒業証書授与の練習、卒業生入退場、呼びかけ、式歌の練習・・・などを行う予定です。なお、マスク着用、換気、アルコール消毒など、感染対策をしっかりと取りながら進めてまいります。

【今後の練習について】

3月 8日(火)	1校時	6年生のみ
9日(水)	1校時	5・6年生
10日(木)	2校時	5・6年生
11日(金)	3校時	6年生のみ
14日(月)	5校時	5・6年生
15日(火)	4校時	5・6年生
16日(水)	1校時	5・6年生
17日(木)	5・6校時	卒業式予行
18日(金)	5校時	6年生のみ
22日(火)	5校時	式場作成② 5年生・職員



6校時 5年生・職員 式場作成①

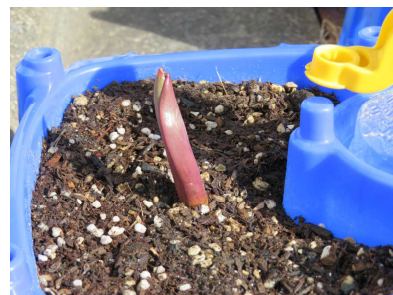


卒業
おめでとう

◇春の訪れが感じられます。

このところの暖かさで、一気に春が近づいてきた感があります。中庭には、1年生の子どもたちが大切に育てているチューリップの球根があります。先日、先生や子どもたちに「芽がでている」と教えてもらいました。

早速、見に行ってみると、本当に、たくさんの芽がでていました。「もうすぐ春がやってくるね」「一生懸命、お世話したからだね」子どもたちも、芽がでていることに大喜び！自然界の様子からも春の訪れが感じられた瞬間でした。



校長のひとりごと

今日のお話は、昭和時代のお話です。私は、大学を卒業後、1年間、白河市のある小学校で講師をしていました。時は、昭和62年、5年生の担任。今、考えると、子どもたちと過ごした毎日、まさに「無我夢中」「一心不乱」であったように感じます。

ある日、担任していた子どもたちが、私のところに来て、「ボールで遊んでいたら、窓ガラスが割れてしまいました」と言ってきました。まず、その言葉を聞いて、私は「窓ガラスが割れてしまいました・・・ではなく、窓ガラスを割ってしまいました・・・だろう」と厳しい口調で怒りました。その後、「なんでそうってしまったのか」「遊ぶ場所が悪かったのではないかと、私の口からは、指導の言葉が続きました。そして、最後には「教頭先生のところに行って謝らないとだめだ」と言い、泣いている子どもたちを職員室に連れて行きました。教頭先生からも厳しく指導を受けないとダメだと思っていた私は、信じられない教頭先生の言葉に驚きました。教頭先生からの第一声・・・「けがはしなかったの?」「そう、それはよかったね」・・・、ガラスを割ってしまったことだけにポイントをあてて、厳しく指導した自分は、その言葉を聞いて、「うそでしょう!!自分が悪者みたいになってしまった」と感じました。でも、後でよく考えてみると、「なるほど、そういうことか」と感じることができました。

子どもたちを指導する際は・・・タイミングとバランス、状況、同じことをいつまでも繰り返さない、子どもの心を考えて諭す・・・ことが大切なんだということを教頭先生に教えてもらったのだということです。一枚のガラスの破損が、私に教えてくれたのです。

